

●日露・日ソ関係史研究者の長年の研究の成果

コンスタンチン・サルキーソフ著
日中戦争とソ連邦 盧溝橋から真珠湾へ 1937～1941 年
第 1 部 北京からハノイへ
モスクワ、ロシア科学アカデミー・東洋学研究所、2023 年刊

Саркисов К.О.

Японо-китайская война и Советский Союз.
От моста Марко Поло к Перл-Харбору. 1937-1941.

Ч.1. От Пекина к Ханюю

Науч.ред. Панов А.Н.; Ин-т востоковедения РАН. (Серия <Япония и Россия – очерки истории>. Кн.3) 2023 г. 832 с. ISBN9785907671768. (R262299) hard ¥17,160.

■本書は、ロシア有数の日本学者コンスタンチン・サルキーソフ氏の著作シリーズ「日本とロシア 歴史概観」の＜第 3 巻、第 1 部＞に該当します。本シリーズの第 1 巻『ロシアと日本 100 年の関係(1817～1917 年)』[Россия и Япония. Сто лет отношений. (1817-1917)]は 2015 年に、第 2 巻『日本とソビエトロシア 歴史概観(1917～1937 年)』[Япония и Советская Россия. Очерки истории (1917-1937)]は 2019 年に刊行されました

■第 3 巻では、1937 年中葉＝日本の中国侵略の始まりから 1941 年末＝日本の中国侵略の太平洋戦争への移行までの時期を対象とします。その第 1 部、即ち本書では、1937 年 7 月(「日華事変」)から 1940 年 9 月(「北部仏印進駐」)までを扱います。記述は、日露の第一次資料＝アーカイブ文書の調査・研究に基づいてなされました。

■本書の目次から：

序 / 第 1 章 「事変」から戦争へ / 第 2 章 上海から南京まで / 第 3 章 南京から漢口まで / 第 4 章 南京からハノイへ / 第 5 章 ヨーロッパでの戦争と新戦略 / 第 6 章 1940 年代 / エピローグ / 書誌 / 著者について。

■サルキーソフ氏は歴史学準博士、ロシア科学アカデミー東洋学研究所指導研究員で、日露関係史の専門家です。1979～1983 年に在日ソ連大使館第一書記(東洋学研究所代表)として、1996～2012 年は法政大学招聘教授、山梨学院大学教授(のち名誉教授)として、日本に滞在しました。1883～1995 年にはモスクワの東洋学研究所日本文化センター長とロシア連邦の日本学者協会会長を務めました。2020 年 11 月には日露交流への貢献に対して旭日中綬章が授与されました。1997 年、NHK 教育テレビ「ロシア語会話」にも米原万里氏と共に出演しました。サルキーソフ氏には他に、『日本と国連』(1975 年刊)、『対馬会戦への道 ロジェストヴェンスキー中多くの著作、モノグラフがあります。

К. О. Саркисов



1937-1947



Японо-китайская война и Советский Союз

От моста Марко Поло к Перл-Харбору.

Часть 1
От Пекина к Ханю